

# 自立活動

## 「他者のことを考えて行動しよう」 ～学級集団を活かした取組～

---

藤田 美代

キーワード▶▶▶

中学校特別支援学級(知的障害)

自立活動

集団(ペア学習)

中学1年生

コミュニケーション

ロールプレイ

# 相手のことを考えた行動・発言ができるように…

## 本時のテーマ…

- 昼食直前になって、クラスメイトに何も言わずトイレに行くBさん。
- Cさんはイライラして怒った態度をしている。
- こんな時、どうしたらお互いに気持ちよく過ごせるかな??

## テーマ設定の理由

- 実際に学級で起こった場面を基にした。多くの生徒が、時間に対する意識が薄く、おしゃべりをしたあとにトイレに行き他者を待たせることがあった。学級内には、イライラして待つ生徒はいなかったが、他学級との交流が増えてくるとトラブルになる可能性もあると考えた。
- 相手の気持ちは表情や態度から読み取れる生徒が多いが、よりよい行動や発言を知ればさらにお互いが気持ちよく過ごせるコミュニケーションが取れそう!と考えたから。



# 学級集団をいかした授業

## ①ペアで意見を考える

- 相手の気持ちを考えた発言内容をペアで話し合った。
- 一人で意見を考えるのが難しい生徒も、意見を言うことができた!



## ②ロールプレイをする

- 悪い例もペアでロールプレイすることで、相手から待たされて嫌な気持ちになることに気付くことができた。
- 自分たちが考えた意見を実際に演じることができた。



## ③全員で考える

- 各ペアが出した意見から、よりよいものを考えた。
- 1つに決まらないこともあるが、多くの意見を知ることができた。



# 学級集団をいかした効果

## ① 仲間の意見を参考にできる

ペアで話し合う場面で…



「やばいかも。」  
「トイレに間に合わない。」は？



「みんなを待たせちゃう。」  
「早く行かなくちゃ。」も書くね。

※仲間の意見を聞き、意見を思いつく生徒

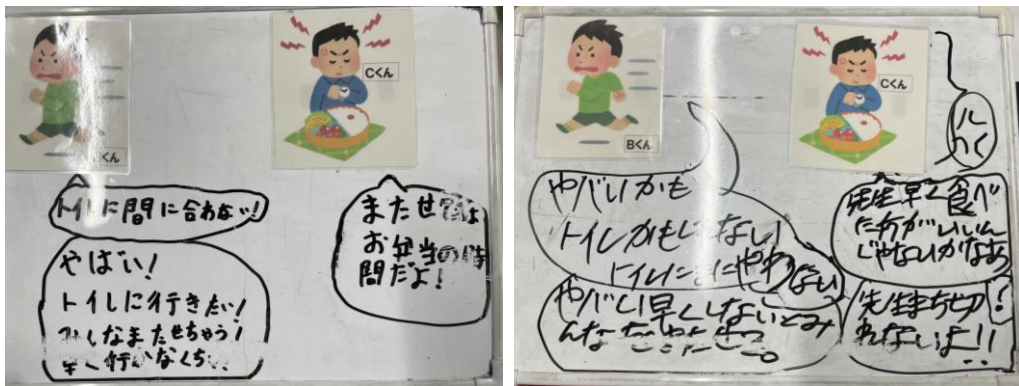
## ② ロールプレイ形式で実践できる

- ロールプレイを生徒同士で行うことにより、  
教員と行うよりも、友達同士で実際に起きた  
トラブルというリアルさが感じられる。
- ロールプレイ形式で実践することにより、  
実際の場面でも生かしやすいになる。

# 学級集団をいかした効果

## ③ロールプレイ形式の発表をしたり見たりして、より考えが深まる

各ペアで考えたセリフを  
ロールプレイ形式で発表した後…



それまで出ていなかった意見が出てきた



なんだかちょっと違うと思う。



先生に「トイレに行ってきます。ごはん先に食べておいてください。」って言うのがいいんじゃない?

# 学級集団で学習するための準備

## 安心して意見を言える人間関係

- 中学1年生なので、まずは安心して話せる教員との関係づくり。
- 存在を認め、がんばりを認める。気持ちを受け止める。
- 生徒同士の関係構築。様々な授業で、生徒同士がかかわる機会をつくる。
- 生徒同士でのトラブルが起きたら、互いの気持ちを知るチャンス。



## 学習規律・話し合う時のルール

- 日頃から、学習規律を、生徒全員が守ることができるよう支援する。
- 生徒の「得意・不得意」や「好き・嫌い」があるので、記録係は誰がやってもよい。
- 意見が違うと思ったときの伝え方を全員で確認。「〇〇さんの意見とは違って~だと思えます。」



# 今後の課題

## 意見を言いたいが、考えが浮かばない生徒

### 考えが浮かばない要因① 「経験していないことの想像」が苦手

- 小学生の頃にテーマの場面（他者を待たせる・他者を待つ）の経験や友達と「待ってて。」「先に行ってるよ。」などの言葉のやり取りの経験が多い生徒は意見が活発に言えた。
- 一方、小学生の頃に友達とのやり取りの経験が少ない生徒は、意見が活発に言えず、他の生徒の意見に同意することが多かった。

### 考えが浮かばない要因② 「順序立てて考えること」が苦手

- 問いが「トイレに行きたいけど、友達をイライラさせずにトイレに行くには…」少し複雑だった。
- そのため、順序立てて考えることができる生徒は、意見を言えたが、順序立てて考えることが特に苦手な生徒は、「早く行かなくちゃ。」「みんなを待たせちゃう。」など気持ちを考えることに留まってしまい、「どのように伝えたらよいか」の改善策まで考えを深めることが難しかった。



## 改善策

経験したこと・想像しやすいことから考え始め、  
「気持ち」→「言動（行動・発言）」を段階的に考える

# 今後の課題

「気持ち」→「言動（行動・発言）」  
を段階的に考える

## 例 「気持ち」と「言動」の区別

気持ち	待たされるのは嫌だなと思う
言動	「ちょっと急いでくれる？」と言う 
	机を叩くなど不機嫌な態度 

## ふきだしを2種類にし、区別する

気持ちの  
ふきだし

発言の  
ふきだし

## こんな意見を引き出せたかも…

※謝ることの大切さに気付く



トイレに行きたい！  
みんなを待たせちゃうよ。

**ごめん!** 急いでトイレ行ってくる!



仕方ないなあ。

いいよ。待ってるよ。